

# I 現状分析

## I -2) 釧路の教育における現状

・ 共的な部分=地域教育

**地域教育とは・・・**

**地域住民が学校と家庭と連携し、ともに子どもたちを育てること。**

# I 現状分析

## I -2) 釧路の教育における現状

子ども：社会性を身につける貴重な場

家庭：補助的な役割

学校：総合的な学習、地域に関する体験的な学習の場

# I 現状分析

## I -2) 釧路の教育における現状

釧路市の学校教育の中で行われている地域教育の例...



**コミュニティ・スクール**

# I 現状分析

## I -2) 釧路の教育における現状

### ▶ コミュニティスクールとは・・・

保護者を中心とする地域の人々が学校運営や教育活動に対する一定の権限と責任を持って学校の様々な課題解決に参画すること



# I 現状分析

## I -2) 釧路の教育における現状

現状では、参加のほとんどは保護者が中心であり、  
全く教育の分野外の地域住民の参加率は低い・・・

教育委員会へのヒアリングへの結果

⇒そういった**地域住民の教育への意識の低さ**が伺えた

# I 現状分析

## I -2) 釧路の教育における現状

釧路の教育における現状分析 まとめ

**私 = 家庭**

**公 = 学校**

**以上、二つは現状では厳しい状況**

# I 現状分析

## 現状分析 まとめ

福祉、教育の両分野とも

「共の部分=地域」を必要としている  
(コミュニティ)

## Ⅱ コミュニティの意義

# 目次

- ▶ **Ⅱ コミュニティの意義**
  - Ⅱ-1) **コミュニティの理論的位置づけ**
  - Ⅱ-2) **釧路市橋南地区における  
「コミュニティの希薄化」**
  - Ⅱ-3) **コミュニティ再生にむけて**

## Ⅱ コミュニティの意義

コミュニティとは「地域社会」「共同体」等、多義的な意味がある

今回はコミュニティを「人と人とのつながり」という理論的な位置づけをする

## Ⅱ コミュニティの意義

### ～1)コミュニティの理論的位置づけ～

- ・ 家族と市場と比較してみたコミュニティの違い

#### 家族

愛情に基づく、家庭内での無償の相互扶助

#### コミュニティ

相互満足を実現するための地域同士での相互扶助

→ 家族より広い相互扶助でつながっている

## Ⅱ コミュニティの意義～1) コミュニティの理論的位置づけ

- ・ 家族と市場と比較してみたコミュニティの違い

### 市場

貨幣交換により、一回限りの社会関係が形成される

### コミュニティ

相互扶助(助け合い)を繰り返すことで、持続的な社会関係が形成される

→市場より深い社会関係でつながっている



## Ⅱ コミュニティの意義

ここでの「コミュニティ」とは「地域での相互扶助が、持続的に行われる人と人とのつながり」を指す



**相互扶助が持続的であることが地域福祉、地域教育  
を推進していく際の重要な視点**